

デザインブラッシュアップ講座

只今、開講中

デザインブラッシュアップ講座とは

県内の様々な企業と産学連携の活動をされている九州産業大学芸術学部 of 青木教授を講師長に招き、デザインに関する課題を発見し解決策を導き出す方法や手順を、**受講企業・大学・インテリア研究所**の3者で探る産学官連携の講座です。

過去には博多織や久留米織の織元、金物メーカー、商社、食品製造業などの企業が受講しています。

講師長



青木 幹太 教授

九州産業大学 芸術学部生活環境デザイン学科で教鞭を執る。伝統産業(博多織、博多人形、久留米織、曲げわっぱ) 家具メーカー / ガラス工房など様々な企業と産学連携に取り組んでいる。

(画像は九州産業大学 芸術学部 HP 教員紹介より)

デザインブラッシュアップ講座で実施すること

「解決すべき課題の決定」

受講企業へのヒアリング・現地調査を行い、課題の掘り下げ・優先順位をつけた上で、講座で取り組む課題を決定します。

「課題を解決する」

課題をどう解決するかアイデアを出し、解決策を実践します。課題によっては成果を発表(展示/販売)することもあります。

デザインブラッシュアップ講座で取り組んだ課題の例

01. 東洋ステンレス研磨工業(株)

金属研磨による表面加工が得意なメーカー

受講動機

福岡デザインアワードへ出品する商品を考えている

課題解決の方法

製品コンセプトを立案し、消費者に提供する「価値」を検討する

ヒアリングで見えた課題

企業技術を宣伝できるノベルティグッズの開発の必要性

完成したもの/成果

机上で身近に使用する
文房具の開発
(右は正円型分度器)



02. 高取八山高取焼宗家

黒田藩の御用窯として400年の歴史を持つ窯元

受講動機

若い世代に向けた商品を開発したい

課題解決の方法

現代の生活に即した商品の提案
PR動画の撮影

ヒアリングで見えた課題

確かな技術と伝統を消費者に伝えること

完成したもの/成果

サイズ展開のある**器の開発**と高取焼PR動画の制作



03. (株)モリサキ

型抜やレーザーカットの技術を持つメーカー

受講動機

レーザーカットの技術を活かした商品を作りたい

課題解決の方法

企画を実行するプロセスを構築する

ヒアリングで見えた課題

端材の有効活用/若い社員の意見を集約する

完成したもの/成果

木材の端材を使った**ワークショップを開催**



【お願い】 講座での成果を学会や成果発表会で使用することがあります。受講後、1年に1回成果状況をうかがいます。工業技術センター主催の発表会等で企業の担当者さま自身に取り組みの発表をお願いすることがあります。

【注意点】 本講座は工業技術センタークラブの会員企業限定の講座です。会員でない企業はセンタークラブへ入会していただくことで受講できます(年会費10,000円)。

同時期に受講できる企業数に限りがありますので、受講をお待ちいただく場合があります。

まずは、デザインに関する悩みや講座へのご要望などご相談下さい。

お問い合わせ先
インテリア研究所

TEL 0944-86-3259 | 平日 9:00-16:30
MAIL dbu@fitc.pref.fukuoka.jp